

月次レポート

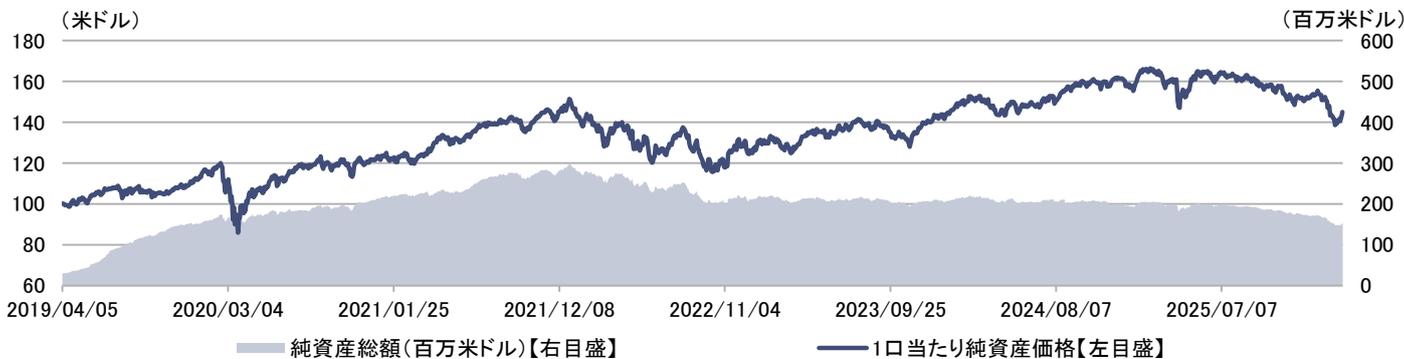
ソフォス・ケイマン・トラストⅡ

米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン
米ドル建 米ドルヘッジクラス2026年
2月27日現在

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

運用状況等

1口当たり純資産価格の推移



- ・1口当たり純資産価格は、管理報酬等控除後の値です。
- ・管理報酬等は、後記の「手数料等」に記載しています。

サブ・ファンドの現況

	2026/02/27	前月末	前月末比
1口当たり純資産価格	144.94米ドル	147.12米ドル	-2.18米ドル
純資産総額(百万米ドル)	151.94	158.48	-6.54

	1口当たり 純資産価格	日付
設定来高値	166.41米ドル	2025/02/13
設定来安値	85.81米ドル	2020/03/23

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
サブ・ファンド	-1.5%	-5.2%	-10.2%	-12.0%	14.3%	44.9%

- ・実際のサブ・ファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のサブ・ファンドの騰落率は、100を起点として計算しています。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

190618-051409

月次レポート

2026年
2月27日現在

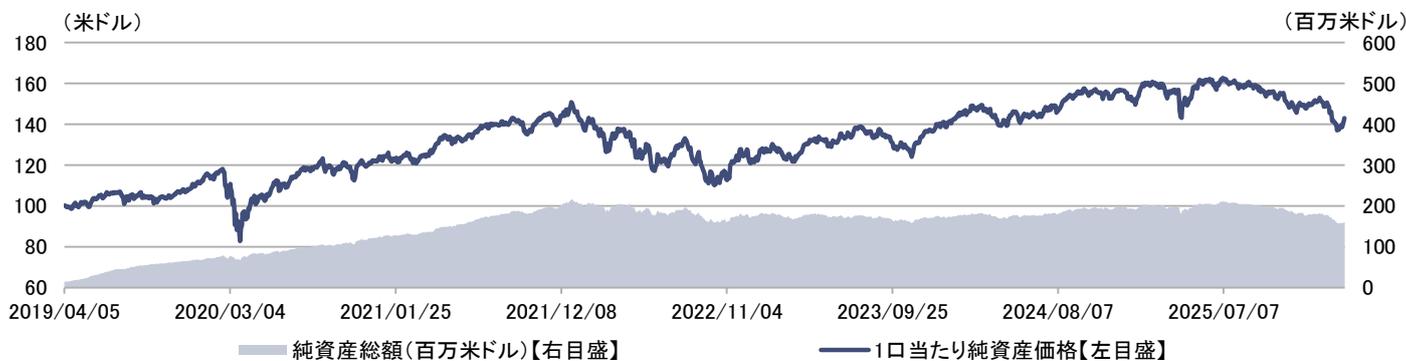
ソフォス・ケイマン・トラストⅡ

米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン
米ドル建 為替ヘッジなしクラス

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

運用状況等

1口当たり純資産価格の推移



- ・1口当たり純資産価格は、管理報酬等控除後の値です。
- ・管理報酬等は、後記の「手数料等」に記載しています。

サブ・ファンドの現況

	2026/02/27	前月末	前月末比
1口当たり純資産価格	142.88米ドル	145.44米ドル	-2.56米ドル
純資産総額(百万米ドル)	160.63	171.84	-11.21

	1口当たり 純資産価格	日付
設定来高値	162.62米ドル	2025/07/03
設定来安値	82.74米ドル	2020/03/23

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
サブ・ファンド	-1.8%	-5.0%	-10.2%	-10.3%	16.1%	42.9%

- ・実際のサブ・ファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のサブ・ファンドの騰落率は、100を起点として計算しています。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次レポート

2026年
2月27日現在

ソフォス・ケイマン・トラストⅡ

米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン
米ドル建 米ドルヘッジクラス／米ドル建 為替ヘッジなしクラス

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

「ソフォス・ケイマン・トラストⅡ 米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン」の運用状況(※)

(※)ソフォス・ケイマン・トラストⅡ 米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープンの運用会社であるモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料を基に作成しています。

資産構成

	比率
株式	98.9%
現金等	1.1%

組入上位10業種

業種	比率
1 金融	23.5%
2 生活必需品	15.6%
3 ヘルスケア	14.4%
4 資本財・サービス	13.9%
5 情報技術	11.5%
6 一般消費財・サービス	11.0%
7 コミュニケーション・サービス	9.0%
8 -	-
9 -	-
10 -	-

組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	84.2%
2 フランス	4.2%
3 イギリス	3.9%
4 ドイツ	3.5%
5 イタリア	3.1%
6 -	-
7 -	-
8 -	-
9 -	-
10 -	-

組入上位10通貨

通貨	比率
1 米ドル	79.8%
2 ユーロ	9.8%
3 英ポンド	9.3%
4 -	-
5 -	-
6 -	-
7 -	-
8 -	-
9 -	-
10 -	-

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 33銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	5.4%
2 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	5.4%
3 コカ・コーラ	アメリカ	生活必需品	5.3%
4 ビザ	アメリカ	金融	4.7%
5 プロクター・アンド・ギャンブル	アメリカ	生活必需品	4.3%
6 ロレアル	フランス	生活必需品	4.2%
7 インターコンチネンタル・エクスチェンジ	アメリカ	金融	4.0%
8 ヘイリオン	アメリカ	ヘルスケア	3.6%
9 ネットフリックス	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.5%
10 SAP	ドイツ	情報技術	3.5%

・当ファンドの国・地域はモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドが定義した区分に基づいています。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率はサブ・ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種は、GICS(世界産業分類基準)のセクターで分類しています。・組入銘柄数は議決権種類株式(ClassA、ClassB)および複数国上場銘柄は合算せず、それぞれ1銘柄として計算しています。・現金等は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次レポート

2026年
2月27日現在

ソフォス・ケイマン・トラストⅡ

米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン
米ドル建 米ドルヘッジクラス／米ドル建 為替ヘッジなしクラス

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

運用担当者コメント

【当月の市場動向について】

先進国の株式市況は上昇しました。人工知能(AI)を巡る懸念から不安定な動きが見られたものの、AI関連銘柄に対する成長期待が引き続き強いことに加え、米連邦最高裁が米政権の課した一連の関税を違憲と判決したことで景気や企業業績の追い風になるとの見方が広がったことなどがプラス材料となりました。

セクター別では、パフォーマンスが相対的に良かったセクターは「素材」や「公益事業」などで、悪かったセクターは「コミュニケーション・サービス」や「情報技術」などでした。

米ドルは、米連邦最高裁が関税政策を違憲と判断したことで米関税政策に対する不確実性が懸念された一方、米国とイランの対立激化が警戒される中、高市首相が追加利上げに難色を示したほか、日銀審議委員に財政拡張や金融緩和に積極的と目される候補者が提示されたことなどを背景に対円で上昇しました。ユーロは対円で上昇しました。

【当ファンドの運用について】

当ファンドの保有銘柄において、地政学リスクなどを背景としたヘッジ目的のデリバティブ取引の需要増加などにより「CMEグループ」の上昇などがプラスに寄与した一方、AI事業の競争優位性に対する懸念が意識されたことなどから「アルファベット」の下落などがマイナスに影響しました。投資行動については、生成AIの進化による事業の代替リスクなどから「ローパーテクノロジー」などを全売却しました。

【今後の運用方針】

2月はAIの浸透による代替懸念を背景に、ソフトウェア関連銘柄を中心に下落する局面がありました。運用チームは、企業ごとに異なるAI代替リスクや企業のクオリティに応じて、銘柄ごとのパフォーマンスに差が生じてくると考えています。代替の可能性の低さや競争優位性の維持に着目しつつ、当ファンドの運用については、引き続き、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」へ投資することによりポートフォリオを構築する方針です。また、銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に、徹底したボトムアップ・アプローチを行います。

・モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料に基づき作成しています。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

■ GICS(世界産業分類基準)について

・Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次レポート

2026年
2月27日現在

ソフォス・ケイマン・トラストⅡ

米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン
米ドル建 米ドルヘッジクラス／米ドル建 為替ヘッジなしクラス

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

組入上位10銘柄コメント

銘柄	銘柄概要
1 アルファベット	世界最大級のテクノロジー会社。広告や検索などの製品やサービスを提供する他、クラウドサービス事業などを手掛ける。
2 マイクロソフト	世界最大級のテクノロジー会社。コンピューター向けの基本ソフトウェアをはじめ、ビジネス用ソフトウェア、インターネット閲覧ソフトウェアなどの開発・製造やクラウドサービス事業などを手掛ける。
3 コカ・コーラ	米国を基盤とする世界的清涼飲料製造会社。「コカ・コーラ」「ファンタ」などをはじめ多数の炭酸・非炭酸飲料ブランドを広域で販売。
4 ビザ	世界中で「ビザ」ブランドを展開する大手クレジットカード会社。クレジットカード、デビットカードなどの決済サービスを提供する。
5 プロクター・アンド・ギャンブル	米国を基盤とする世界最大級の日用品メーカー。「パンパース」「アリエール」「ジレット」等多種多様なブランドを取り扱う。
6 ロレアル	世界最大級の化粧品会社。化粧品やヘアケア、香水などを取り扱う。「メイベリン」「ランコム」「ケラスタージェ」などの有力ブランドを有する。
7 インターコンチネンタル・エクスチェンジ	証券取引所などの運営会社。天然ガスや農産物の取引所の運営や、金融機関に向けてデータ提供サービスなども手がける。
8 ヘイリオン	世界的に展開する消費者向けヘルスケア会社。オーラルケア、ビタミン・ミネラル、風邪薬などの分野において幅広い製品ラインナップを誇る。
9 ネットフリックス	テレビシリーズや映画などを配信する動画のストリーミングサービスを提供するエンターテインメント会社。幅広い言語でサービスを展開。
10 SAP	ビジネスソフトウェアの開発、企業向けコンサルティングなどを展開する世界的ソフトウェア会社。中でも統合業務パッケージのERPシステムにおいて強みを発揮する。

・上記は個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。・モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料に基づき作成しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ソフォス・ケイマン・トラストⅡ –
米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン
米ドル建 米ドルヘッジクラス／米ドル建 為替ヘッジなしクラス
 ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

ソフォス・ケイマン・トラストⅡ –米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープンを「サブ・ファンド」といいます。

サブ・ファンドの目的・特色

■サブ・ファンドの目的

サブ・ファンドは、信託財産の成長を目指して運用を行います。

■サブ・ファンドの特色

1.世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

・サブ・ファンドの投資戦略において「プレミアム企業」とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフロー*を増大させることが期待される企業を指します。

*フリー・キャッシュフローとは、「事業活動による儲け」から「必要な投資」を差し引いて、手元の現金がいくら増えたかを表す指標です。営業キャッシュフロー（事業活動により得られた現金収入とそれに要する現金支出との差額）と投資キャッシュフロー（事業を維持・拡大するために必要な投資活動による現金収支）を合算して求めます。

2.銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底的なボトムアップ・アプローチ*を行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析します。

*【ボトムアップ・アプローチ】 投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。

・原則として、厳選した20～40銘柄に集中投資を行います。

3.運用は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドが行います。

4.為替ヘッジの有無により、「米ドル建 米ドルヘッジクラス」および「米ドル建 為替ヘッジなしクラス」があります。

・「米ドル建 米ドルヘッジクラス」は、原則として米ドル建て資産以外の資産に対して為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

・「米ドル建 為替ヘッジなしクラス」は、原則として為替ヘッジを行いません。

市況動向、資金動向またはサブ・ファンドの残存信託期間等の事情によっては、上記のような運用ができないことがあります。

ソフォス・ケイマン・トラストⅡ

米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

米ドル建 米ドルヘッジクラス／米ドル建 為替ヘッジなしクラス

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

投資リスク ※主なリスクであり、以下に限定されるものではありません。詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

受益証券1口当たり純資産価格の変動要因

サブ・ファンドの受益証券1口当たり純資産価格は、サブ・ファンドに組み入れられる有価証券等の値動きのほか、為替変動による影響を受けて下落または上昇し、これにより投資元本を割り込むことがあります。

したがって、元金が保証されているものではなく、損失を被ることがあります。運用または為替相場の変動による損益はすべて受益者(投資者)に帰属します。投資信託は、預貯金と異なります。

サブ・ファンドに付随する主なリスクとしては、以下のものがあります。

■ 為替変動リスク**米ドル建 米ドルヘッジクラス**

サブ・ファンドは、様々な通貨建て資産に投資を行います。その上で、当クラスにおいて原則として対米ドルで為替ヘッジが行われ、為替変動リスクの低減を図りますが、完全に為替変動リスクを排除することはできません。

為替ヘッジを行う通貨の金利(投資している有価証券の通貨に係る金利)が米ドル金利よりも高い場合には、この金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。

米ドル建 為替ヘッジなしクラス

サブ・ファンドは、様々な通貨建て資産に投資を行います。しかしながら、当クラスにおいて為替ヘッジは行いません。

したがって、投資している有価証券の通貨が米ドルに対して強くなると、クラスの受益証券1口当たり純資産価格が上がる可能性があります。投資している有価証券の通貨が米ドルに対して弱くなると、クラスの受益証券1口当たり純資産価格は低下することがあります。

■ 円貨からの投資に伴う為替変動リスク

当初円貨からサブ・ファンドの受益証券に投資した場合には、米ドル建ての受益証券1口当たり純資産価格が下落していなくても、外国為替相場の変動によっては換金(買戻し)時の円貨受取額が円貨での当初投資金額を下回ることがあります。

■ 株価変動リスク

サブ・ファンドが投資している株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行体の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動することがあります。株式の価格が変動すれば受益証券1口当たり純資産価格の変動要因となります。

■ 信用リスク

サブ・ファンドが投資している有価証券の発行体の倒産、財務状況または信用状況の悪化により、受益証券1口当たり純資産価格が下落し、損失を被ることがあります。

■ 流動性リスク

有価証券等を売却または購入しようとする際に、買い需要がなく売却不可能、または売り供給がなく購入不可能となるリスクをいいます。

例えば、市況動向、有価証券等の流通の状況、または買戻金額の規模によっては、組入有価証券等を実勢時価よりも低い価格で売却しなければならないことがあり、かかる場合には、受益証券1口当たり純資産価格の下落要因となることがあります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ソフォス・ケイマン・トラストⅡ

米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

米ドル建 米ドルヘッジクラス／米ドル建 為替ヘッジなしクラス

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

手続・手数料等

お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■手続

- 購入(申込み)単位 販売会社が定める単位 (販売会社にご確認ください。)
- 購入(申込み)価格 (発行価格) 申込みが受け付けられた取引日における受益証券1口当たり純資産価格
- 換金(買戻し)単位 販売会社が定める単位 (販売会社にご確認ください。)
- 換金(買戻し)価格 買戻請求が受け付けられた取引日における受益証券1口当たり純資産価格
(注)「取引日」とは、営業日をいいます。「営業日」とは、ニューヨーク、ロンドン、ルクセンブルクおよび東京の銀行営業日であり、かつニューヨーク証券取引所およびロンドン証券取引所の営業日(12月24日を除きます。)、または管理会社が随時定める日をいいます。以下同じです。
- 換金(買戻し)代金 口座約款に従い、米ドル貨により、原則として国内約定日から起算して4国内営業日目に日本における販売会社または販売取扱会社を通じてお支払いします。
(注) 償還金の支払については、償還日以降、相応の日数がかかることがあります。
- 換金(買戻し)の制限 いずれかの取引日における買戻請求の合計がサブ・ファンドの発行済受益証券の10%(または管理会社が決定するその他の割合もしくは金額)を超える場合、管理会社は、(i)買戻請求を満たすために十分な資産を換金するまで、すべての受益証券の買戻しを延期すること、または(ii)買い戻される当該サブ・ファンドの受益証券の総口数を当該サブ・ファンドの発行済受益証券の10%(または管理会社が決定するその他の割合もしくは金額)に制限すること(かかる場合、受益者の請求は、比例按分して減じられ、残りの部分は、その後の取引日に、その後の買戻請求に優先して買い戻されます。)を選択することができます。
- 信託期間 2029年2月28日まで(2019年4月5日設定)
- 繰上償還 サブ・ファンドは、以下のいずれかの場合、2029年2月28日より前に終了することがあります。
(i) 受託会社および管理会社が同意の上、当該サブ・ファンドを終了させる旨の当該サブ・ファンドの受益者の決議が可決された場合
(ii) ファンドのケイマン諸島における規制ミューチュアル・ファンドとしてのケイマン諸島金融庁による認可が取り消されるかまたは不利に変更された場合
(iii) 管理会社が、受託会社と協議の上、その裁量により、当該サブ・ファンドを継続することが現実的でなく、望ましくなく、または受益者の利益に反すると判断した場合
(iv) 受託会社が辞任した後、適切な代替または後継受託会社を確保できない場合
(v) サブ・ファンドを継続することまたはサブ・ファンドを別の法域に移管することが違法となる場合、または受託会社もしくは管理会社が、かかる行為が非合理的であり、非経済的であり、賢明でなく、もしくは受益者の利益に反すると考える場合
(vi) 関連する補遺信託証書、補足英文目論見書または英文目論見書の条件に記載の日付または状況に該当する場合
(vii) 任意の買戻しまたは強制買戻しかを問わず、全ての発行済受益証券が買い戻された場合
- 決算日 毎年2月最終営業日(または管理会社が随時選択する毎年その他の日)
- 収益分配 分配は行わない方針です。
- 課税関係 サブ・ファンドは、税法上、公募外国株式投資信託として取り扱われます。益金不算入制度の適用は認められません。ただし、将来における税務当局の判断によりこれと異なる取扱いがなされる可能性もあります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ソフォス・ケイマン・トラストⅡ
米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン
米ドル建 米ドルヘッジクラス／米ドル建 為替ヘッジなしクラス
 ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

手続・手数料等 お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■手数料等

投資者が直接的に負担する費用

購入(申込み)手数料	発行価格の 3.30%(税抜3%) を上限とする申込手数料(受益証券1口当たり)が課されます。
買戻し手数料	課されません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

サブ・ファンドの管理報酬等

純資産価額の**年率1.80%**(ただし、年間または月間の最低報酬が適用されることがあります。)

内 訳	管理報酬	純資産価額の年率0.11%(四半期毎に後払い)
	投資運用報酬	純資産価額の年率0.65%(四半期毎に後払い)
	投資顧問報酬	純資産価額の年率0.25%(四半期毎に後払い)
	受託報酬	純資産価額の年率0.01%(四半期毎に後払い)
	管理事務代行報酬 (名義書換事務代行報酬を含みます。)	純資産価額の年率0.08%以内(月間最低報酬5,500米ドル)
	保管報酬	保管会社は、合意済みの市場毎の取引手数料・資産保管料の支払を受領する権利を有します。
	代行協会員報酬	純資産価額の年率0.05%(四半期毎に後払い)
	販売報酬	純資産価額の年率0.65%(四半期毎に後払い)

その他の費用・手数料	<p>①設立費用:設立費用は、償却期間中に追加のサブ・ファンドが設立され設定された場合、全てのサブ・ファンドが、それぞれの純資産価額に比例して、存続期間の長さに応じて期間調整ベースで負担します。</p> <p>②その他の運営費用:支払利息、仲介手数料・仲介報酬、斡旋手数料およびその他の類似の費用、ならびに特定の投資対象に関するデューデリジエンス、その他の専門家報酬およびコンサルティング料を含む投資関連費用は、受託会社によってサブ・ファンドの資産から支払われます。</p> <p>弁護士、監査人および会計士にかかる費用(弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬および監査人等に支払う監査に係る報酬等)、投資報酬ならびに仲介報酬を含むソフォス・ケイマン・トラストⅡまたはサブ・ファンドの直接的な運営費用も、サブ・ファンドの資産から支払われます。</p> <p>設立費用およびその他の運営費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に合計額および上限額ならびにこれらの計算方法を示すことができません。</p>
------------	--

※手数料および費用等の合計額およびその上限額ならびにこれらの計算方法については、サブ・ファンドの運用状況や受益証券の保有期間等に応じて異なるため表示することができません。

■ファンドの主な関係法人

管理会社	ファンドロジック(ジャージー)リミテッド
受託会社	ブリッジストリーム・コーポレート・トラスティーズ・リミテッド
投資運用会社	モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド
投資顧問会社	三菱UFJアセットマネジメント株式会社
保管会社・管理事務代行会社・名義書換事務代行会社	ルクセンブルク三菱UFJインベスターサービス銀行S.A.
代行協会員	モルガン・スタンレーMUFJ証券株式会社
	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第188号
	加入協会:日本証券業協会/一般社団法人第二種金融商品取引業協会/一般社団法人金融先物取引業協会

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン 米ドル建 米ドルヘッジクラス
 米ドル建 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン 米ドル建 為替ヘッジなしクラス

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
第四北越証券株式会社*	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○			
ひろぎん証券株式会社*	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
中銀証券株式会社*	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○			○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○

【本資料のご利用にあたっての注意事項等】

- 本資料は三菱UFJアセットマネジメント株式会社の情報提供等により、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- 本資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性や完全性および公平性を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動などを保証するものではありません。
- 運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、組入る有価証券等の価格の下落や、組入る有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、または外貨建資産に投資する場合には為替変動などの影響により、受益証券1口当たり純資産価格が下落し損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。
- 市場動向等および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行われない場合があります。
- 投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託の取得のお申込みを行う場合には、契約締結前交付書面(投資信託説明書(交付目論見書)および補完書面)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。なお、投資信託説明書(交付目論見書)等は販売会社等にご請求ください。
- お申込みの際に「外国証券取引口座約款」に基づく取引口座の開設が必要となります。
- 当ファンドの受益証券は米ドル建てであり、円貨に基づいて取引される場合には、為替相場の影響を受けますので、投資元本を割り込むことがあります。
- 外貨建外国投資信託の売買、償還にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて各社が決定した適用為替によるものとします。

*商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。※上記情報は本資料作成日時点のものであり、今後変更されることがあります。販売会社によってお申し込みの条件、制限等が異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。